

(一般質問)

質問日	令和2年9月30日(水)		質問方式	分割方式			
質問順位	8	会派名	自由民主党浜松	議席番号	44	氏名	和久田 哲男
表題	質問内容						答弁者の職名
1 成人式について	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により、行事・イベントの中止や規模縮小が相次いでいるが、成人式開催についてどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 成人年齢が18歳に引き下げられる令和4年度以降は、法律上の成人を対象とした従来の成人式ではなくなるが式典の名称はどうするのか伺う。</p>						鈴木副市長
2 基幹相談支援センターの業務について	<p>基幹相談支援センターは、障害者相談支援の中核機能を担う機関として3年目となり、委託契約の最終年度を迎える。そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) これまでの相談支援機関への支援状況と評価及び今後の進め方について伺う。</p> <p>(2) 地域生活支援拠点事業における地域体制整備の取組の評価及び今後の展開について伺う。</p>						山下健康福祉部長
3 CO ₂ 削減対策について	<p>本市の一世帯当たりの自動車保有台数は1.48台と政令市の中でも一番多く、他都市に比べ自動車からのCO₂の排出割合が高い。CO₂削減のため、CO₂を排出しない電気自動車を市が率先して公用車に導入し、市民へも広げていくことが有効であると考え。そこで、CO₂削減対策として以下2点について伺う。</p> <p>(1) 公用車への電気自動車などの導入状況はどうか伺う。</p> <p>(2) 今後、市のCO₂の削減対策として、電気自動車を導入する考えはあるのか。また、それらを防災面で活用する考えはあるのか伺う。</p>						影山環境部長
4 中規模要望の現状と今後の進め方について	<p>河川の内水氾濫や道路冠水が毎年のように発生し、交通事故についても人口10万人当たりの人身交通事故件数が11年連続で政令市ワーストワンという状況である。こうした状況から、浸水対策や交通安全対策は、市民のニーズが高く、地域からも早期の対策を望む声を聞いている。そこで、中規模要望の現在の進捗、優先度の考え方、今後の進め方について伺う。</p>						高須土木部長
5 消防訓練や災害対応における先端技術の取組について	<p>消防の目的は、市民の生命・身体・財産を火災や災害から守ることであるが、将来にわたって消防活動技術を維持し、より一層市民の安全を確保するためには消防もデジタルファーストにのっとり、先端技術の導入等を検討していく必要があるのではないかと考える。そこで、消防活動の現場や研修、訓練におけるIoTやICTな</p>						鵜飼消防長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>どの先進的な取組の可能性など、将来ビジョンについて伺う。</p>	
<p>6 竹の利活用について</p>	<p>竹の手入れを怠ると周辺の山林や畑などへの浸食が進み、生態系に影響を及ぼし生物多様性の保全に影響を与えるとともに、大雨等での地滑りを引き起こす原因となる可能性がある。放置竹林が地域に与える影響は大きいと言わざるを得ない。放置竹林への対応は、県の「森の力再生事業」の活用などにより行われているが、地域の活動として新たな動きも生まれてきている。</p> <p>農業においては、以前からチップなどを圃場の改良剤として使っているが、農業だけでなく、様々な場所で竹を活用することができると思う。そこで、農業等をはじめとする竹のさらなる利活用の可能性について伺う。</p>	<p>山下農林水産 担当部長</p>
<p>7 新型コロナウイルスによる農業への影響について</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、当初、飲食店や学校が休業し、農業にも大きな影響を及ぼし、飲食店等に向け出荷していた農産物を廃棄したという声が寄せられた。最近は、一時期よりも落ち着きを見せているが予断を許さない状況にある。この新型コロナウイルスによる危機を乗り越え、今後の本市の農業振興に向け力強く取り組んでいく必要があると考える。そこで、以下2点について伺う。</p> <p>(1) 農業における新型コロナウイルスの影響と今後の対応策について伺う。</p> <p>(2) 海外販路開拓への影響と今後の展開について伺う。</p>	<p>山下農林水産 担当部長</p>